

未来施設「ハウステンボス・スマートハウス」の建設について

ハウステンボス株式会社(所在地:長崎県佐世保市)は2013年5月の竣工を目標として、未来施設「ハウステンボス・スマートハウス」(以下「スマートハウス」)の建設に着手することになりました。

建設予定のスマートハウスは、鉄骨と木材を組み合わせたハイブリッド構造の平屋。ハウステンボス内東側のマリンクラブハウスそばの敷地で本日より着工(建築面積:92.83㎡)、設計は東京大学生産技術研究所に依頼し、総工費は約4,000万円となる予定です。

スマートハウスの建築物としての特徴は、①建物を循環する冷温水により冷暖房する、②未来の再生可能エネルギー供給施設を実装(・検証)する、③住宅に必要な基本的性能を視える化する、の三点になります。

また、ハウステンボスとしての、本プロジェクトの位置付け・特徴は次の通りです。

- 今後のハウステンボスの進化・スマートシティ化の方向を指し示す象徴
 - 東京大学生産技術研究所に設計・検証を依頼し、先進性を担保
 - 世界最先端の環境・省エネソリューションが実装される「進化型の見本市」
 - 実際に人が住まうことにより、建築物・各ソリューションの効果および快適性を厳しく検証し、真に優れているものは周知・ビジネス協力(インキュベーション施設としての位置付け)
- 今後は、このプロジェクトで得られたノウハウ・データを活用し、「スマートホテル」の建設など、環境未来都市の実現に向け、様々な構想を順次具現化・ビジネス化してまいります。



【完成予想図】

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>